

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ユネスコ憲章の精神にのっとり、ユネスコスクールの理念の一つに「シンググローバリー・アクトローカリー」～地球（世界）という大きな視野で物事を考え、考えたことをその地域で行動・実践する～という言葉があります。世界との「つながり」や「かかわり」も意識して、手稲西中学校のユネスコスクールとして次のような学習に取り組んでいます。

■教科

○技術・家庭科3年生では、札幌市次世代育成支援事業と連携して赤ちゃんから乳幼児（8ヵ月～4歳まで）とのふれあいの授業で「赤ちゃんや幼児とその親に来校してもらい、生徒とのふれあいの場を設ける」、直に乳幼児に接するなかで、ご両親を含め、多くの人に支えられて今にいたっていることや、命の重みを実感し、人権などを考えるきっかけの学習をしています。



○技術・家庭科1, 3年生では、NPO法人日本時代衣装文化保存会の支援を受け、日本文化の伝統にふれる「和装着付け」の学習をすると同時に礼儀やマナーについても学ぶ。異文化を理解するためには先ず自国の文化を理解する学習をしています。



■総合的な学習の時間



1年生「環境・自然（問題）」 2年生「職業・くらし」 3年生「福祉・社会保障・国際理解」をテーマに、リサイクル工場見学（1年）や、地域事業所の理解協力を得て職場体験（2年）、JICA札幌で国際協力についての講話や日本赤十字北海道支社では赤十字の使命や活動の説明を受け（3年）、個人個人が調査活動や体験活動（1日日程で郊外での追及学習も実践）を行い、報告レポートの作成、研究発表会等を行っています。



◆2F ユネスココーナー（常設）



■特別活動

○生徒会の福祉局を中心にエコキャップ運動・リングプル回収運動・地域草むしり・校地周辺雪かきボランティア・東日本大震災・熊本地震で被災された皆様への募金活動など実践的な活動を行っています。



○学校祭で、校区内にある老人ホーム神愛園「星置ハイツ」のお年寄りをお招きし、主にステージ発表を鑑賞してもらい、その後福祉局の生徒と交流する時間も作り「ようこそ西中へ」というプログラムを実践。また、「手稲養護学校」とは、3学期に生徒会執行部と福祉局が訪問し、お互いに自己紹介や近況報告さらに生徒会が企画したゲームなどで交流を深めています。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（福祉局の活動としても実施）